

開講期	2026年度後期			単位数	2.0単位
科目[授業]名	3115 教育と社会			開講形態 (隔週 偶数 = 隔週2コマ)	週間授業
種別	なし			定員	
履修可能学年	全学年履修可	重複履修	×	全学開講	○
曜日時限	金曜2限				
教室	H303教室				
代表教員	富樫 千紘				
担当教員	富樫 千紘				
テーマと到達目標	本講義のテーマは「居場所としての学校」「人間的自立を支える教育」という視点から今日の教育状況を考察することである。そのため、日本における教育・子育てに関する状況を通して教育における「当事者性」の意義を学び、教育が社会においてどのような役割を担っているのか、あるいは担う必要があるのか、考えられるようにすることを到達目標とする。				
概要	「居場所としての学校」「人間的自立を支える教育」という視点から、現在の日本の教育・子育てを取り巻く様々なトピックについて検討していく。				
対面科目/オンライン科目	対面科目				
授業計画				担当教員 (複数の教員が担当する場合のみ記載)	授業方式
第1回	オリエンテーション：教育・社会における「当事者性」の検討				対面授業
第2回	教育における「当事者性」：関係的子どもの権利論と学校教育の課題				対面授業
第3回	学校生活の「主体」としての子ども①				対面授業
第4回	学校生活の「主体」としての子ども②				対面授業
第5回	学校における子どもの自己表現の学習機会①				対面授業
第6回	学校における子どもの自己表現の学習機会②				対面授業
第7回	講義中間まとめ				対面授業
第8回	学校が子どもの生活に及ぼす影響①				対面授業
第9回	学校が子どもの生活に及ぼす影響②				対面授業
第10回	いじめ・不登校から考える子どもの学校生活における「当事者性」①				対面授業
第11回	いじめ・不登校から考える子どもの学校生活における「当事者性」②				対面授業
第12回	教育の社会的役割①				対面授業
第13回	教育の社会的役割②				対面授業
第14回	教育の社会的役割③				対面授業
第15回	講義のまとめ				対面授業
成績評価の基準	毎回の講義課題 (30%)、小レポート (30%)、最終レポート (40%) により評価を行う。				
履修にあたっての留意事項	教育問題や教育政策をもとに検討を行うため、状況に応じてトピックは追加・変更になることがある。				
オンライン授業方式(同時双方向型・オンデマンド型)の詳細					
【種別】人数制限(抽選)授業の優先条件					

◆教科書・教材

教科書以外に必要な教材費用			
教科書	特に用いない。	教科書(ISBN)	
参考文献	浅野春夫他『からだの権利教育入門 幼児・学童編: 生命の安全教育の課題を踏まえて』 子どもの未来社、2022年 丸山啓史『宿題からの解放』かもがわ出版、2023年 世取山洋介『子どもの権利: 国連審査と子どもの権利論の深化 世取山洋介著作集1』 旬報社、2024年	参考文献(ISBN)	

◆合理的配慮

本学における修学支援基本方針について	本学における修学支援基本方針は以下URLを確認してください https://www.wako.ac.jp/campuslife/barrier-free.html 合理的配慮を希望する場合は基本方針およびシラバスを熟読の上で申請すること
--------------------	--